

## 農事組合法人あさひ宮農組合

～令和5年9月21日(木)訪問～ 【日田市】



農事組合法人あさひ宮農組合は、集落内の高齢化が進み、農家個々での農地の維持管理が困難になることが予想されるなか、地域の農地を守り、安心して農地を預けることができる団体として、平成24年に地域農家165名により設立されました。主要経営品目として主食用米である「なつほのか」や、家畜の飼料となるWCS用稲などを栽培しています。

懇談では、設立までの経緯や、高齢化が進むなか、将来にわたって地域の農地を守るために工夫をこらして地域全体で取り組んでいる活動内容についてお聞きするとともに、農業後継者不足や鳥獣被害対策など様々な課題についてご意見、ご提言をいただきました。

また、皆さんには、降雨時に水田に普段より多く水をためることでもダムのような働きを持たせ、河川の流域全体で水害を防ごうという「流域治水」の取組である「田んぼダム」の実証実験に、令和4年度からご協力をいただいています。

県として、これまでのご尽力に感謝申し上げますとともに、皆さんのご意見を踏まえて市とも連携して課題に取り組んでいくことをお伝えしました。

なお、懇談後には、現地にて田んぼダムの設備を見学させていただきました。

## 対話風景



## 関連する県の施策

☆事業名：中山間地宮農経営体強化対策事業

事業概要：持続可能な中山間地農業を確立するため、集落営農組織等の収益構造の改革や大規模経営体による連携・統合を支援

・園芸品目等の導入に関する支援

人材確保支援、新規品目導入円滑化支援、省力化・多角化機械施設整備支援

・法人間の連携・統合に関する支援

初期活動支援、省力化機械導入支援、オペレーター確保支援

予算額：1億163万円

☆事業名：農業農村多面的機能支払事業

事業概要：地域共同で行う多面的機能を支える活動や、地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る活動を支援する

・田んぼダムに取り組む場合、資源向上支払（共同）の単価に加算される。

（加算措置 300円/10a）

予算額：11億3,400万円